

ボン大学東洋アジア学研究所 東洋アジア言語部門日本語科

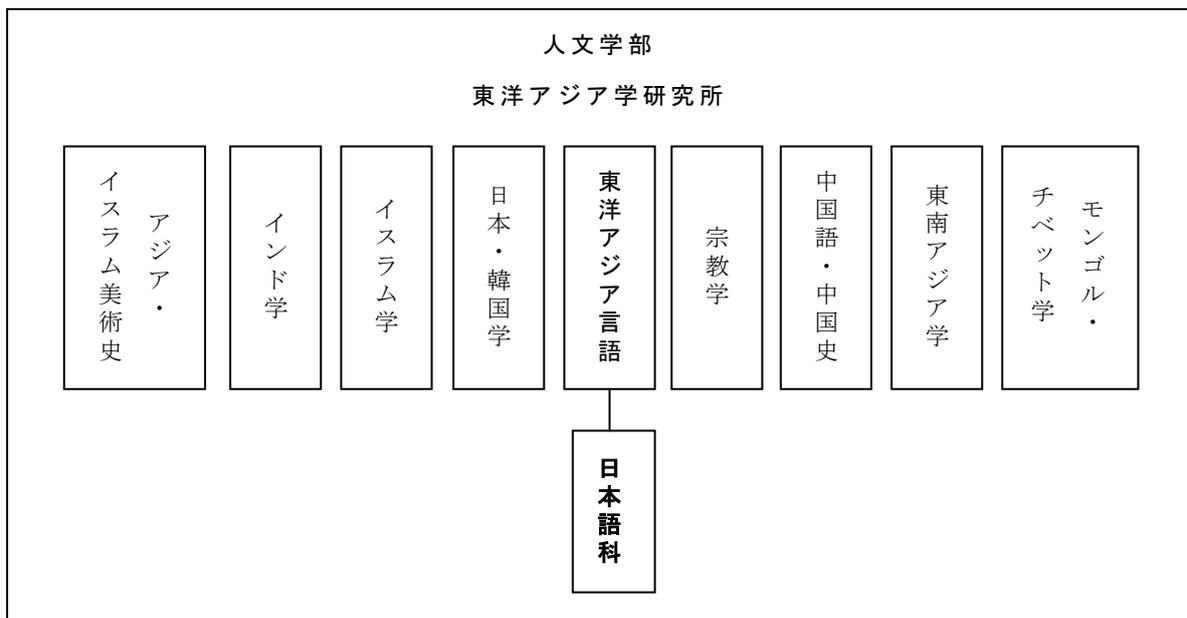
(2009年12月現在)

奥村 三菜子
okumura@uni-bonn.de

独名称 : Arbeitsbereich Japanisch,
Abteilung für Orientalische und Asiatische Sprachen (AOAS),
Institut für Orient- und Asienwissenschaften (IOA),
Universität Bonn,
住所 : +Nassestr. 2, 53113 Bonn, Germany
TEL : +49-(0)228-8404
FAX : +49-(0)228-8401
URL : <https://www3.uni-bonn.de/phihlfak/institute/institut-fuer-orient-und-asienwissenschaften/abteilungen/orientalische-und-asiatische-sprachen>

1. 組織・構成

日本語科は東洋アジア学研究所（IOA）内で、以下のように位置する。



2. 概要

2-1. 歴史・背景

ボン大学の東洋アジア言語セクションは、1887年にベルリンで設立されたアジア言語講座に端を発しており、1959年にボン大学所属の講座となった。1998年に人文学部の傘下に加わり、主に翻訳科としてその専門分野を担ってきたが、2004年のBA・MA制度導入後の組織改革によって、東洋アジア学研究所の一部門を担うこととなった。現在は「近東地域担当（アラビア語科、トルコ語科）」と「東洋地域担当（中国語科、朝鮮語科、日本語科）」の二地域に担当が分けられており、日本語科は東洋地域担当に属している。

2-2. 教育課程

BAではアジア学専攻課程の学生を対象に、必修選択科目の言語科目である「基礎日本語」と「応用日本語」、および自由選択科目の「日本語学概論」や「翻訳演習」等の科目を提供しており、MAでは翻訳専攻課程の学生を対象に、「翻訳演習」や「翻訳学」等の科目を提供している。

BAおよびMAの単位取得の例は以下の通りである。

●BA 単位取得の例

()は単位数

semester	言語科目	専門科目	その他
1	基礎1 (12)	アジア史(12)	IT・調査・プレゼン演習(12)
2	基礎2 (12)	現代アジア概論(12)	
3	基礎3 (12)	選択必修科目×2 (24)	
4	応用1 (12)	選択必修科目(12)	
5	応用2 (12)	選択必修科目(12)	
6	応用3 (12)	選択必修科目(12)	学士論文(12)
	72 単位	84 単位	24 単位

計 180 単位

* 専門科目の選択必修科目として「第二外国語」を選択してもよい。

* 単位として認められる企業実習や社会実習 (Praktikum) もある。

●MA 単位取得の例

()内は単位数

semester	第一言語科目	第二言語科目
1	翻訳1 (15)	第二言語中級1 (15)
2	翻訳2 (15)	第二言語中級2 (15)
3		選択必修科目 (言語学、文化学等) (15)
4	修士論文(30)	

計 120 単位

3. スタッフ

教授（1名）、専任講師（7名）、非常勤講師（8名）、チューター（2名）

*うち、ドイツ人は4名。

4. BA 開講科目

●日本語（必修選択科目）

科目名	時間数 (h/週)	CEFR レベル	使用教材	主な受講者 受講者数
基礎日本語 1 ・文法 ・口頭運用 ・文字・読解	(計 6 h) 1.5 h 3 h 1.5 h	A1	『げんき I』	BA 1 年生前期 (1 セメスター) 約 130 名
基礎日本語 2 ・文法 ・口頭運用 ・文字・読解	(計 6 h) 1.5 h 3 h 1.5 h	A1-A2	『げんき I』 『げんき II』	BA 1 年生後期 (2 セメスター) 約 100 名
基礎日本語 3 ・文法 ・口頭運用 ・文字・読解	(計 6 h) 1.5 h 3 h 1.5 h	A2	『げんき II』 『新日本語の中級』 『ニューアプローチ中級』	BA 2 年生前期 (3 セメスター) 約 90 名
応用日本語 1 ・文法 ・口頭運用 ・文字・読解	(計 6 h) 1.5 h 3 h 1.5 h	A2-B1	『新日本語の中級』 『ニューアプローチ中級』	BA 2 年生前期 (4 セメスター) 約 80 名
応用日本語 2 ・口頭運用 ・文法・読解	(計 4.5 h) 3 h 1.5 h	B1	『新日本語の中級』 『ニューアプローチ中級』	BA 3 年生前期 (5 セメスター) 約 50 名
応用日本語 3 ・口頭運用 ・文法・読解	(計 4.5 h) 3 h 1.5 h	B1-B2	『新日本語の中級』 『ニューアプローチ中級』	BA 3 年生前期 (6 セメスター) 約 40 名

●日本語学・翻訳（自由選択科目）

科目名	時間数 (h/週)	CEFR レベル	主な受講者 受講者数
日本語学概論	1.5 h 隔週	B1～B1-B2	BA 3 年生 (5・6 セメスター) 約 15 名
日独翻訳基礎演習	1.5 h	B1～B1-B2	BA 3 年生 (5・6 セメスター) 約 15 名
独日翻訳基礎演習	1.5 h	B1～B1-B2	BA 3 年生 (5・6 セメスター) 約 10 名

5. MA 開講科目

●日本語第一言語選択学生向け

科目名	時間数 (h/週)	CEFR レベル	主な受講者
日独翻訳 1 (必修)	隔週 1.5 h	B2	MA 1 年生前期 (1 セメスター)
日独翻訳 2 (必修)	1.5 h	B2-C1	MA 1 年生後期 (2 セメスター)
独日翻訳 1 (必修)	1.5 h	B2	MA 1 年生前期 (1 セメスター)
独日翻訳 2 (必修)	1.5 h	B2-C1	MA 1 年生後期 (2 セメスター)
日本語文章作成演習 (選択)	1.5 h	B2-C1	MA 2 年生 (2・3 セメスター)
翻訳分析 (選択)	1.5 h	B2-C1	MA 2 年生 (2・3 セメスター)
文語 1 (選択)	1.5 h	B2-C1	MA 2 年生 (2・3 セメスター)
文語 2 (選択)	1.5 h	C1	MA 2 年生 (2・3 セメスター)
購読演習 (選択)	1.5 h	B2-C1	MA 2 年生 (2・3 セメスター)

* 受講者数は、1 年生が約 5 名、2 年生が約 5 名。

●日本語第二言語選択学生向け (BA 日本語と共通)

応用日本語 2 ・ 口頭運用 ・ 文法・読解	(計 4.5 h) 3 h 1.5 h	B1	『新日本語の中級』 『ニューアプローチ中級』	BA 3 年生前期 (5 セメスター) 約 50 名
応用日本語 3 ・ 口頭運用 ・ 文法・読解	(計 4.5 h) 3 h 1.5 h	B1-B2	『新日本語の中級』 『ニューアプローチ中級』	BA 3 年生前期 (6 セメスター) 約 40 名

6. その他

2008 年 10 月から、ボン大学言語学習センターが開講している全学対象の言語科目 (CEFR 準拠) にアジア言語が加えられることが決定し、日本語科もカリキュラム作成や講師の提供などでその開講に協力している。開講科目の詳細は以下の通りである。

●日本語 (全学対象選択科目)

科目名	開講	時間数 (h/週)	CEFR レベル	使用教材	主な受講者 受講者数
日本語 1.1	冬学期	計 3 h (1.5 h × 2)	A1 前期	『げんき I』	BA・MA 生 約 20 名
日本語 1.2	夏学期		A1 後期		
日本語 2.1	冬学期		A2 前期	『げんき II』	
日本語 2.2	夏学期		A2 後期		

以上